

馬場記念病院 整形外科 後期臨床研修プログラム

1. 研修期間

日本整形外科学会専門医取得までの4年間を基本とする

2. 指導体制

研修責任者：部長 安田 匡孝

3. 研修内容と目標

- ・ 整形外科疾患の診断、手術を含む治療に関する現行の知識と技術を習得する。
- ・ 整形外科手術の術前・術後管理と術後合併症に対してもその対策を迅速かつ的確に実施できる様に訓練を積む（周術期管理）。
- ・ 整形外科疾患に対する基本的な薬物療法、放射線治療等を習得する。
- ・ 整形外科的なリハビリテーションの指導・管理を習得する。
- ・ 院内症例検討会などの各種カンファレンスに積極的に参加する。
- ・ 各種の整形外科関連学会、地方会、研究会、研修会等への積極的参加とともに、症例報告、臨床研究、基礎研究等の発表、論文の執筆に努める。
- ・ 大阪市立大学医学部整形外科学教室 後期臨床研修プログラムの関連病院群である
(<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/graduate/>)

【1年次】（基本的知識の理解と技術の習得）

- ・ 上級医とともに、入院患者の主治医として診療にあたり、診断・治療の過程で必要な各種専門的検査の知識、技能を修得するとともに、適切な治療法を選択できるようになる。
- ・ 指導医のもとに当直業務を行い、救急外来における整形外科的な **primary care** とその後の対応を研修する。
- ・ 1年次の一定期間、麻酔科で整形外科手術の麻酔管理を中心にその基本的手技を習得する。（患者管理）
- ・ ベッドサイドでの整形外科学的診断
- ・ 一般的管理（術前検査、手術準備、患者・家族への病状説明とインフォームドコンセント、術後患者管理、合併症管理、リハビリテーション計画の作成・指導など）（検査）
- ・ 整形外科的特殊検査法の理解と手技の習得（単純X線、CT、MRIの読影、関節穿刺、関節造影、など）（手術・保存的治療）
- ・ 整形外科の基本的な手術適応・手技の習得
- ・ 足関節周辺骨折、大腿骨頸部骨折、手関節周辺骨折などの手術的治療
- ・ 保存的治療や一般創傷処置、骨折や脱臼の整復、牽引、ギプス固定等の手技の習熟

【2年次】

- ・ 入院患者診療とともに、スタッフの指導の下で外来診療を担当し、基本的な整形外科疾患の初期

診療と治療方針の決定が出来るようになる。

- ・単独で当直医として救急診療にあたる。
- ・専門医の指導のもとに手術、病棟勤務及び外来勤務に当たる。
- ・関節外科・脊椎外科・手外科の基礎的知識を習得する。
- ・主治医として、外傷症例の手術（骨折・脱臼整復固定術など）、関節の定型的な手術の術者となり、手術的治療法を習得する。

【3年次】

- ・外来診療、病棟運営の大部分を単独で自立して行う。
- ・病棟で専門医に準ずる医師として自ら患者を受け持つとともに、指導医として研修医、学生の教育に当たる。
- ・指導医のもとでの主治医・手術執刀医としての検査・手術・周術期管理・退院後診療などの知識及び経験をもとに、病棟管理、病棟処置、各領域の専門的な手術手技の向上を目指す。
- ・人工骨頭手術、人工膝関節手術、外傷手術等に習熟する。
- ・指導医とともに臨床研究に従事することにより、学会発表を行い、論文作成に当たる。

【4年次以降】

3年目に引き続いてさらに専門的知識と技能の習得に努めるとともに、単独で病棟全体を管理し、救急患者も含め具体的な初期治療から EBM など広い視野、知識に基づいた治療法選択、外傷、関節疾患、など整形外科の手術全般を行う。

5. 認定施設

日本整形外科学会認定医制度研修施設

日本手外科学会専門医研修施設